

問1 北海道の北東側に位置するオホーツク海から、冬に沿岸へ押し寄せ、解ける際に多くの栄養分を海に供給する氷の塊を何というか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 流氷 2. 親潮 3. 季節風 4. 寒流

問2 北海道の東部に位置し、北方領土を間近に望むことができる岬の名称と、その周辺に広がる日本最大の湿原であり、タンチョウの生息地としてラムサール条約にも登録されている場所の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2021年 鳥取公立入試 類似）

1. 納沙布岬と釧路湿原 2. 宗谷岬と釧路湿原 3. 納沙布岬とサロベツ原野 4. 知床岬と石狩平野

問3 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
2. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
3. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
4. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である

問4 北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模経営が特徴です。農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて極めて大きい背景や、その生産体制に関する説明として正しいものはどれですか。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ
2. 山がちで複雑な地形が多いため、小さな耕地を多数の農家で分け合い、人力による丁寧な管理が行われている
3. 農業産出額を増やすために、狭い土地に多くの肥料や労働力を投入する集約的な農業が発達した
4. 冷害を避けるために、ビニールハウスなどの施設を小規模な土地に密集させて栽培する方法が普及した

問5 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

1. 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。
2. 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。
3. 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。
4. 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。

問6 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. オホーツク海 2. 日本海 3. 太平洋 4. 東シナ海

問7 北海道には「稚内（わかかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. アイヌ 2. 屯田兵 3. えみし 4. 防人

問8 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 農林水産業を主体とする第一次産業
2. 製造業や建設業を主体とする第二次産業
3. 商業やサービス業を主体とする第三次産業
4. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業

問9 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

1. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
2. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
3. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
4. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|--|--|
| 問1 | 答え 1 流氷 | 冬にシベリア方面からオホーツク海を南下してくる氷の塊であり、北海道の沿岸に接岸する現象である。アムール川などからの豊富な栄養分を含んでおり、豊かな生態系を支える要因となっている。親潮（千島海流）は寒流の一種であり、海流そのものを指すため、氷の塊である流氷とは異なる。 |
| 問2 | 答え 1 納沙布岬と釧路湿原 | 北海道の最東端に位置する根室市の納沙布岬からは、歯舞群島などの北方領土を視認することができます。また、その西側に位置する釧路湿原は、かつての海が後退して形成された日本最大の湿原であり、絶滅危惧種であるタンチョウの繁殖地として国際的に重要な湿地であるため、ラムサール条約に登録され保護されています。 |
| 問3 | 答え 1 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である | 北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。 |
| 問4 | 答え 1 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ | 北海道は広大な平野や台地が広がっており、明治時代の開拓使などによる開発によって、当初から一戸あたりの耕地面積が大きく設定されました。このため、都府県のように限られた土地に労働力を大量投入する形態ではなく、大型の農業機械を導入して一人あたりの作業面積を広げることで、高い生産性を実現する経営が行われています。 |
| 問5 | 答え 1 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。 | オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。 |
| 問6 | 答え 1 オホーツク海 | 北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。 |
| 問7 | 答え 1 アイヌ | 北海道の地名の多くは、先住民であるアイヌの人々が使用していた「アイヌ語」に由来しています。例えば「稚内」はアイヌ語で「冷たい水の出る川」を意味する言葉が語源となっており、自然の地形や特徴を反映した地名が各地に残されています。屯田兵は明治時代に北海道の開拓と北方の警備を兼ねて全国から送り込まれた兵士を指すため、先住民とは異なります。 |
| 問8 | 答え 3 商業やサービス業を主体とする第三次産業 | 北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。 |
| 問9 | 答え 1 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。 | 北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。 |